※国交省所管事業版　　資料2(様式１)

令和８年度公共事業再評価調書

担当課名　道路整備課

番号	3

事　業　名	道路改築事業	事業主体	静岡県
ふりがな 箇　所　名	いっぱんこくどう　ごう　しもながお こうく 一般国道362号　下長尾工区	関係市町	川根本町
事業採択年度	令和　4　年度	計画期間	令和4年度　～　令和11年度
用地着手年度	令和　4　年度	工事着手年度	令和　4　年度
再評価理由※	事業採択後5年経過		

全体事業費	百万円	投資状況（百万円）	～R6年度	R7年度	R8年度見込	計
	250		60	11	80	151

事業概要

(1)事業目的

一般国道362号は、愛知県豊川市から静岡県川根本町を経由し静岡市へ至る、地域の経済活動や生活に欠かせない道路である。
第二次緊急輸送路に加え、地域住民の生活道路としての機能を確保するため、本対象区間を整備し、地域住民の安心を確保することと共に地域経済の活性化を図る。

(2)事業内容

施工延長：　181　m
道路工：　181　m

【視点１】事業の必要性

(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化

過疎地域である川根本町では、静岡県全体と比較して高齢化率が高く、高齢化の進行も顕著であり、医療機関の利用頻度がさらに高まることが想定される。また、近年、豪雨災害が頻発化しており、川根本町においても道路や河川などの施設被災が増加している。

(2)事業の投資効果

○費用便益分析結果　（令和　8　年度時点）

B/C（i=4%）	参考:B/C（i=2%）	参考:B/C（i=1%）	EIRR
0.8	1.1	1.4	2.6%

・総便益（B）　1.8 億円　（走行時間短縮便益：1.69億円、走行費用減少便益：0.09億円、交通事故減少便益：0.002億円）
・総費用（C）　2.4 億円　（建設費：2.28億円、維持管理費：0.08円、用地残存価値：0.001億円）

○費用便益分析の総合評価結果

高齢化や人口減少が進む過疎地域においては、既存の３便益のみでは、地域住民の生命や生活の維持などを十分に評価できない側面がある。費用便益分析マニュアル（令和７年８月　国土交通省　道路局）に基づき、必要に応じて貨幣換算化し、便益を計上した値を設定できることから、医療機関へのアクセスの向上や防災機能の強化といった効果を便益に加え、参考値として総合評価を行う。

B/C（i=4%）
1.0

・総合評価の総便益（B）　2.4 億円　追加便益：~~0.582~~0.6億円
・総費用（C）　2.4 億円
・救急救命率向上便益　0.523億円
・定時性向上便益　0.047億円
・環境改善便益　0.012億円

(3)事業の進捗状況　（令和　8　年度見込み）

区　分		進捗率	内　訳
事業費		60.4%	（　151 百万円　／　250 百万円　）
事業量	道路工	47.9%	（　91 百万円　／　190 百万円　）
用地取得		100.0%	（　980 ㎡　／　980 ㎡　）

評価	継続が妥当

【視点２】今後の事業の進捗の見込み

用地買収は令和６年度までに完了し、令和７年度から工事に着手しており、令和11年度完成に向けて事業を推進する。

評価	継続が妥当

【視点３】新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

工事を進めるにあたっては、他現場の発生土を盛土材として使用をするなど、工事費の縮減を図る。

対応方針（案）

(1)対応方針（案）

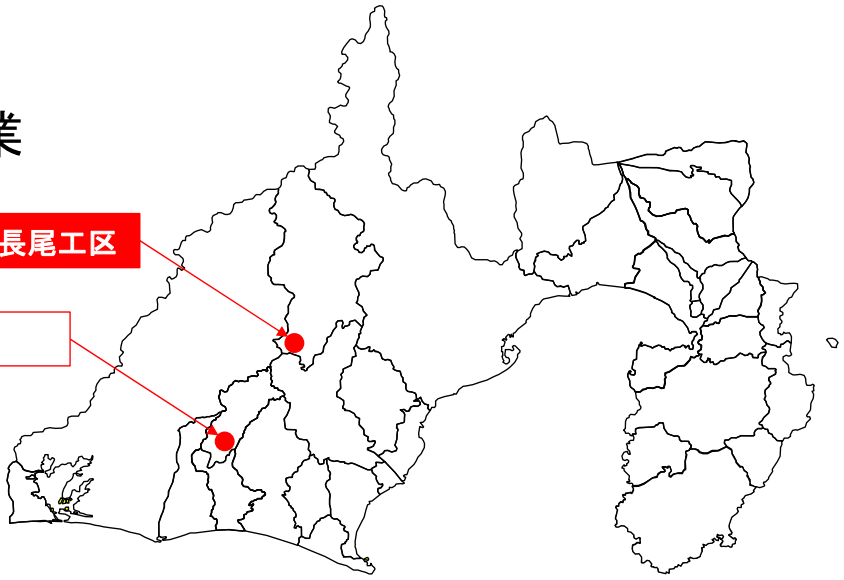
本事業を　【　継続　】　する。

(2)理由

本事業は、各施設へのアクセス性の向上に加え、災害時の迅速な復旧活動、さらには傷病者負担軽減への寄与に資する重要な役割を果たす道路事業である。
既に全ての用地買収が完了し、さらに擁壁工の一部が完了しており、令和９年度には部分供用が可能となり、早期に事業効果が発現される。参考として、当該地域の特性を加味した費用便益比（B/C）の総合評価は1.0 になることから、事業を継続し、コスト縮減に努めて早期完成を図る。

令和8年度　公共事業再評価

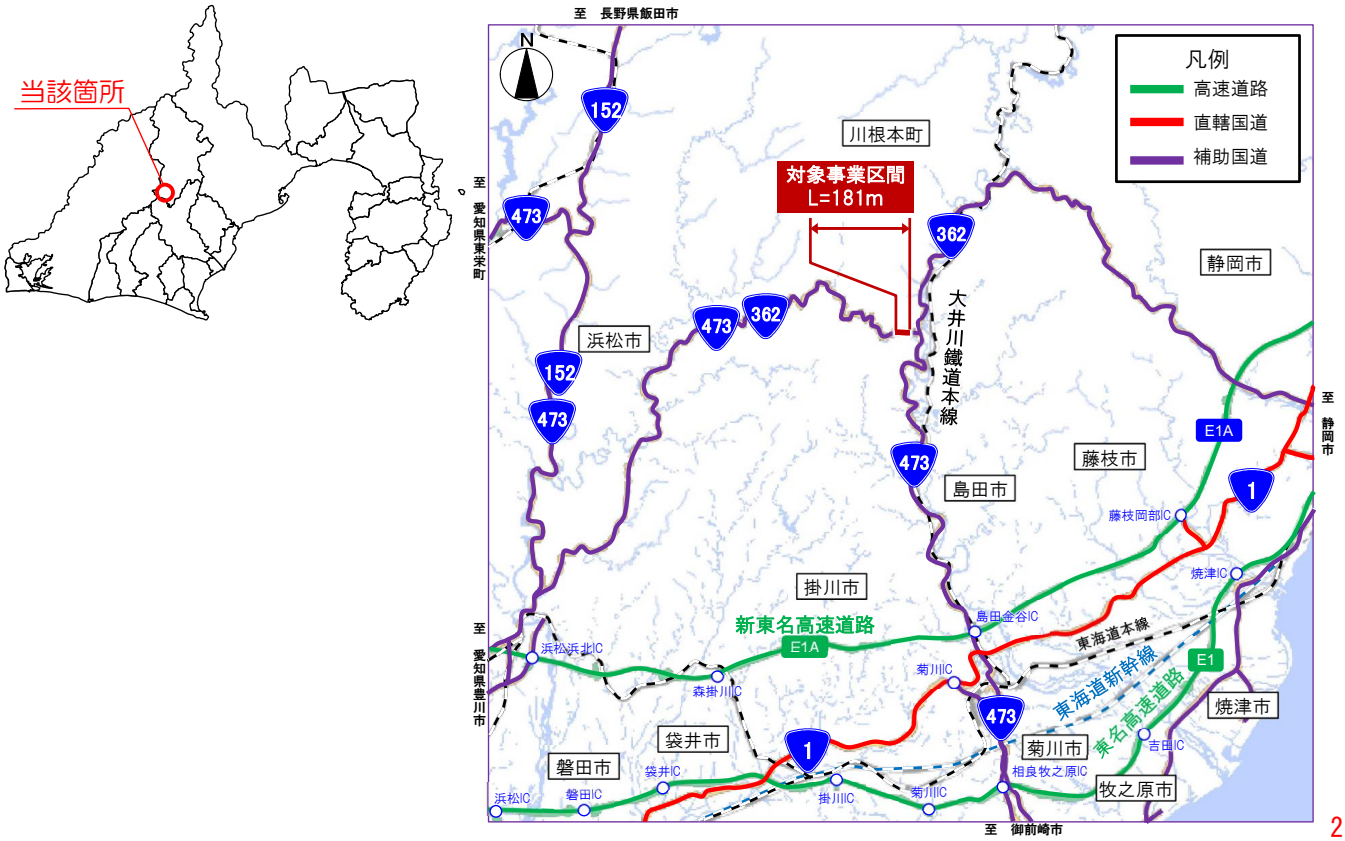
道路事業：２事業



番号	事業名	箇所名	代表事業
2	道路事業	一般県道（いっぱんけんどう）　山梨一宮線（やまなしいちのみや）	
3	道路事業	一般国道362号（いっぱんこくどう）　下長尾工区（しもながお）	○

交通基盤部　道路局　道路整備課

１．事業箇所位置図



2．事業概要

事業目的

- 第二次緊急輸送路に加え、地域住民の生活道路としての機能を確保するため、本対象区間を整備し、地域住民の安心を確保すると共に地域経済の活性化を図る。

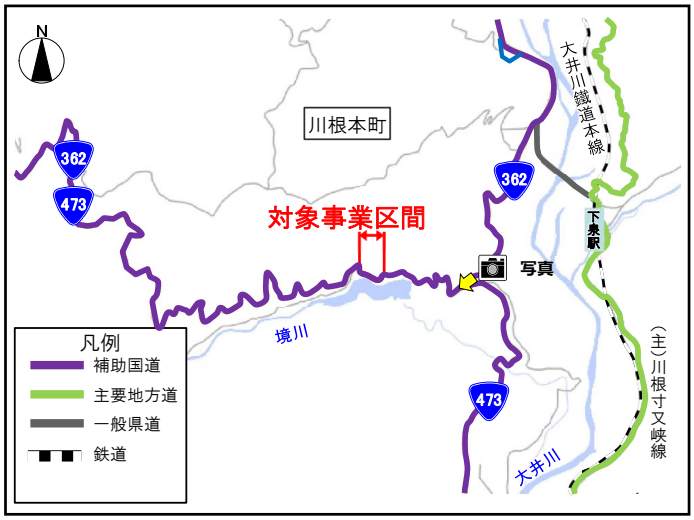
事業内容

- 事業期間　：令和4年度～令和11年度
- 事業延長　：181m
- 計画幅員　：7.0m
- 車線数　　：2車線
- 全体事業費：250百万円

■写真：対象区間周辺の様子



詳細位置図



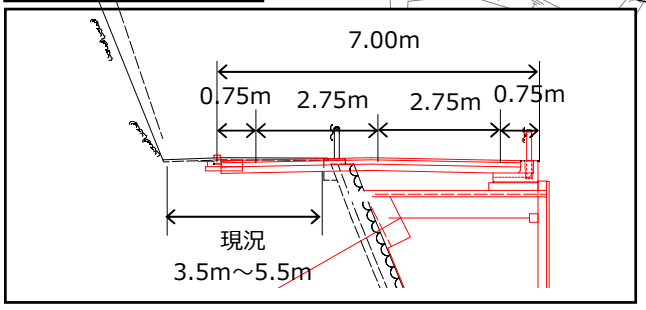
2．事業概要（平面図・標準横断図）

■一般国道362号 下長尾工区





標準横断図



3．事業を巡る社会情勢等の変化

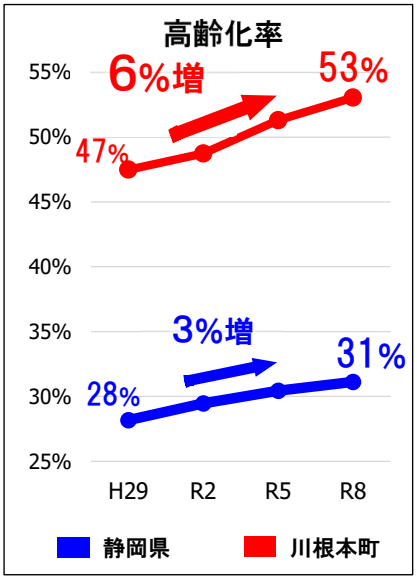
高齢化の進行

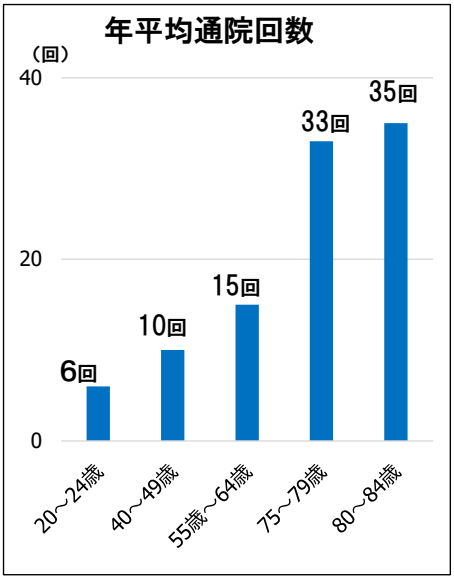
過疎地域である川根本町では、静岡県全体と比較して高齢化率が高く、高齢化の進行も顕著であり、医療機関の利用頻度がさらに高まることが想定される。

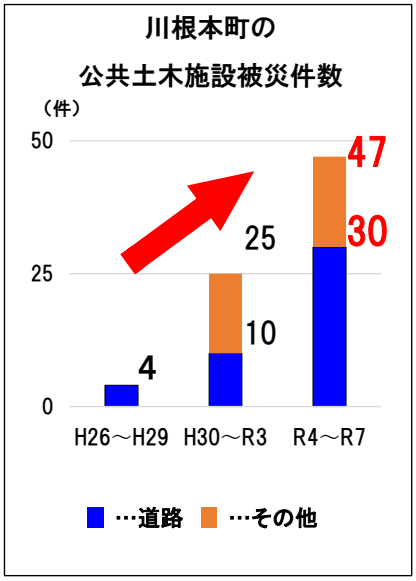
災害の増加

近年、豪雨災害が頻発化しており、川根本町においても道路や河川などの施設被災が増加している。

●事業区間を含む国道362号では、被災時の道路啓開や災害復旧に時間を要しており、地域住民の移動や医療機関へのアクセスといった日常生活に影響を及ぼしている。





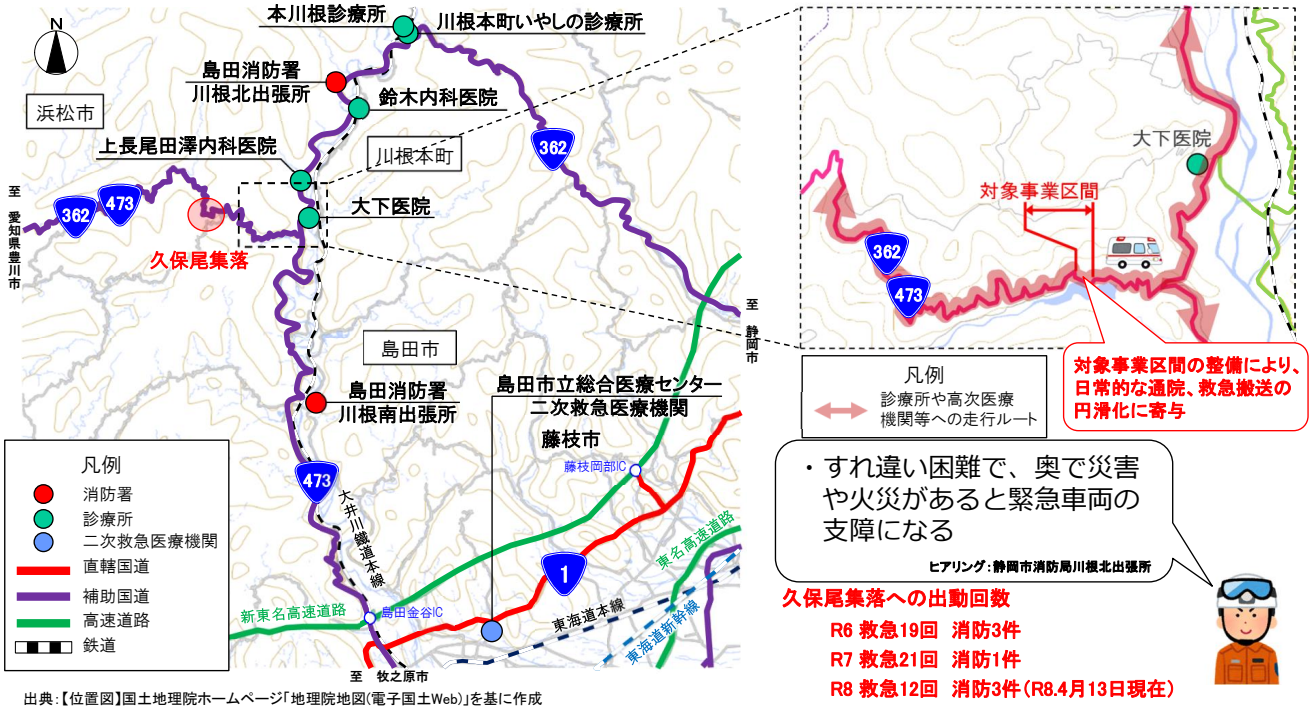


4．事業の必要性（事業の効果）

① 傷病者負担軽減への寄与

【　現　　状　】久保尾集落に居住する住民が医療機関を利用するには、線形不良や狭隘ですれ違い困難な道路を通るため、救急搬送時には傷病者の負担が大きい。

【期待する効果】通院時の移動快適性の向上、救急搬送時における傷病者の負担軽減が期待される。



出典：【位置図】国土地理院ホームページ「地理院地図(電子国土Web)」を基に作成

４．事業の必要性（事業の効果）

② 生活の利便性の向上

【　現　状　】久保尾集落から公共施設や福祉施設を利用するには、対象事業区間を通行する必要があるが、狭隘で線形不良であるため、安全性や移動快適性が低い。

【期待する効果】各施設への移動快適性及び安全性が高まり、生活の利便性が向上する。



出典：【位置図】国土地理院ホームページ「地理院地図(電子国土Web)」を基に作成

■写真①：対象事業区間の様子



■写真②：対象事業区間の様子



・地元の生活道路で、※事故も起きやすいため、**拡幅工事を進めてほしい**
・通勤で使うため、道路幅がほしい
・カーブが狭く見通しが悪くて危険
・法面崩壊、路肩決壊の**危険性が高い箇所、すれ違い困難な箇所を優先**して改良してほしい

ヒアリング：地元住民



※Ｒ４～７年度　交通事故（正面衝突）・・・　2件

４．事業の必要性（事業の効果）

③ 地域防災力の強化

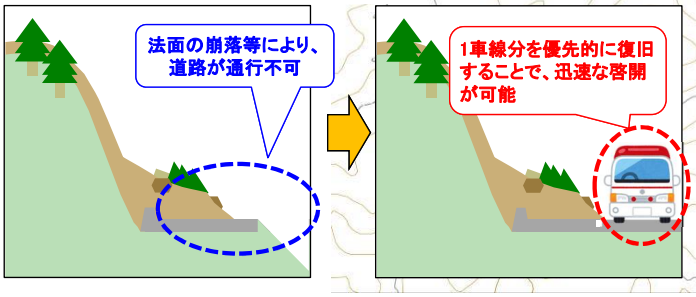
【　現　状　】第2次緊急輸送路に指定されている当該路線は、地域住民の避難ルートとなる。事業区間は、急峻な地形で、過去にも災害による通行止めが発生していることから、災害発生時には長時間に渡り通行止めとなる恐れがある。

【期待する効果】2車線拡幅整備により、災害時の迅速な道路啓開が可能となり、地域住民の避難支援や早期復旧に寄与する。

写真：対象事業区間の様子



■災害発生時の復旧活動のイメージ



出典：【位置図】国土地理院ホームページ「地理院地図(電子国土Web)」を基に作成

4．事業の必要性

■一般国道362号 下長尾工区における便益の算定

道路事業の便益は、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少の3便益を基本としているが、高齢化や人口減少が進む過疎地域においては、地域住民の生命や生活の維持などを十分に評価できない側面がある。
費用便益分析マニュアル（令和7年8月　国土交通省　道路局）により、必要に応じて貨幣換算化し、便益を計上した値を設定できることから、医療機関へのアクセスの向上や防災機能の強化といった効果を便益に加え、総合評価を行う。

追加便益	概　要
救急救命率向上便益	● 救急搬送時間短縮による救命率の向上を貨幣換算
定時性向上便益	● 道路整備により、所要時間のばらつきが減少し、定時性確保のための余裕時間も短縮されることを貨幣換算
環境改善便益	● 走行環境改善によるCO2、Nox、SPM排出量削減を貨幣換算

4．事業の必要性（費用便益分析）

投資効果	3便益		(参考)3便益＋追加便益	
	◎事業全体	残事業	事業全体	残事業
総　費　用（C）	**2.37億円**	0.91億円	**2.37億円**	0.91億円
改　築　費	2.28億円	0.83億円	2.28億円	0.83億円
維持管理費	0.08億円	0.08億円	0.08億円	0.08億円
用地残存価値	0.001億円	－	0.001億円	－
走行性3便益（B）	**1.78億円**	1.78億円	**1.78億円**	1.78億円
走行時間短縮便益	1.69億円	1.69億円	1.69億円	1.69億円
走行経費減少便益	0.09億円	0.09億円	0.09億円	0.09億円
交通事故減少便益	0.002億円	0.002億円	0.002億円	0.002億円
追 加 便 益（B）	－	－	**0.582億円**	0.582億円
救急救命率向上便益	－	－	0.523億円	0.523億円
定時性向上便益	－	－	0.047億円	0.047億円
環境改善便益	－	－	0.012億円	0.012億円
費用便益比（B/C）	**0.8**	2.0	1.0	2.6
経済的内部収益率（EIRR）	**2.6%**	9.3%	－	－

5．前回からの変更点・理由

当初からの変更点・理由

区　分	当初（R4）	今回（R8）	主な変更理由
①計画期間	R4～R11	変更なし	―
②全体事業費	250百万円	変更なし	―

6．事業の進捗状況（令和８年度末見込み）

区　分	進 捗 率	内　訳
事 業 費	60%	（ 151百万円 / 250百万円 ）
工 事 費	47%	（ 91百万円 / 190百万円 ）
用 地 取 得	100%	（ 980m2 / 980m2 ）

7．今後の事業の進捗の見込み

- 用地買収は令和６年度までに完了し、令和７年度から工事に着手しており、令和11年度完成予定である。

8．新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

- 工事を進めるにあたっては、他現場の発生土を盛土材として使用をするなど、工事費の縮減を図る。

９．対応方針（案）

本事業は、

- 線形不良や狭隘など、すれ違い困難な箇所を解消することで、通院時の移動快適性の向上、傷病者の負担軽減及び公共施設へのアクセス性の向上が期待される。
- 2車線拡幅整備により、災害時の迅速な道路啓開が可能となり、緊急車両等の通行が確保されることで、地域住民の避難支援や早期復旧に寄与する。

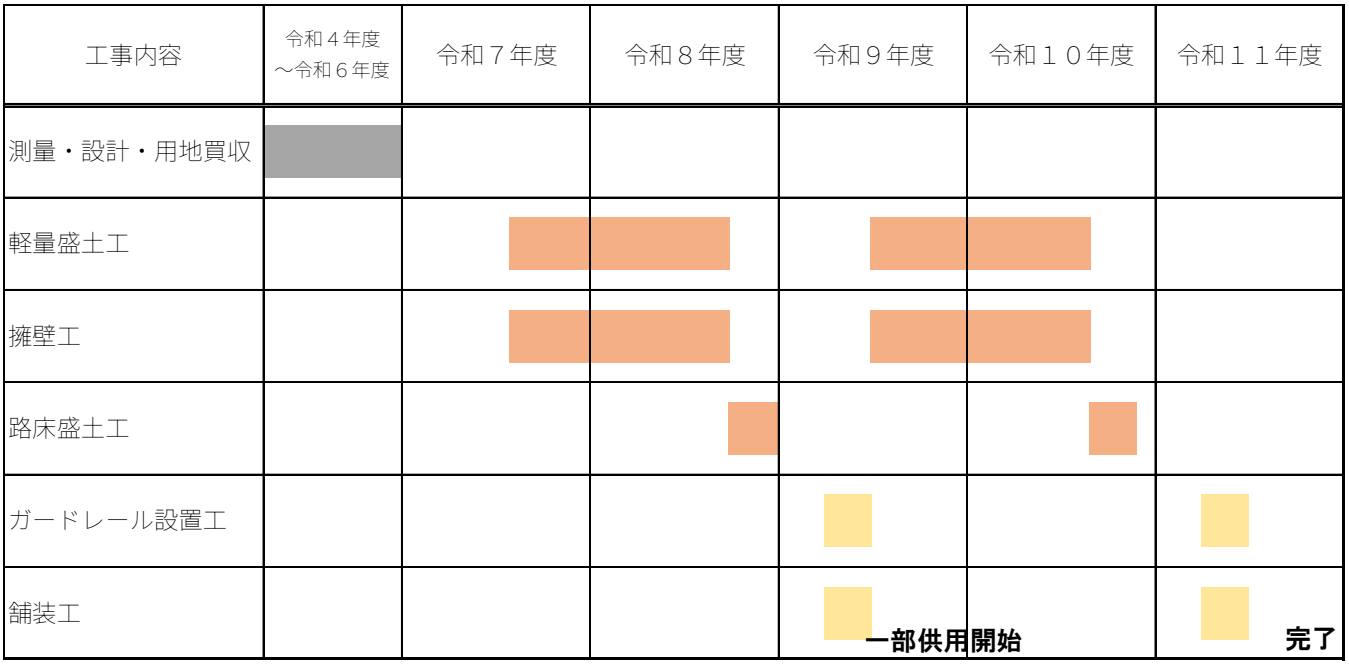
以上から、事業効果が大きい。

既に全ての用地買収が完了し、さらに擁壁工の一部が完了している。
令和9年度には部分供用が可能となり、早期に事業効果が発現される。
参考として、当該地域の特性を加味した費用便益比（B/C）の総合評価は1.0 になる。

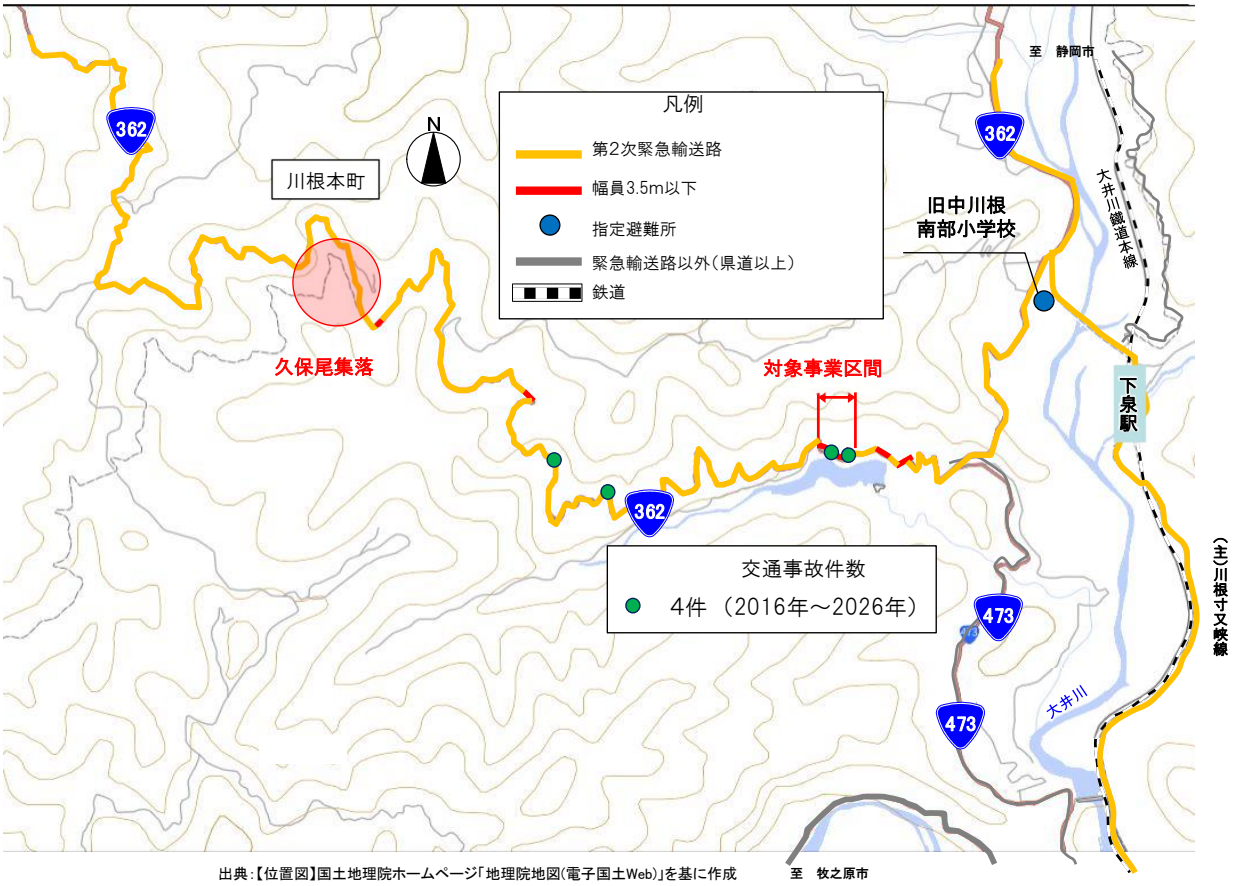
事業を継続し、コスト縮減に努めて早期完成を図る。

【参考】工程表

■一般国道362号 下長尾工区



【参考】交通事故履歴



出典：【位置図】国土地理院ホームページ「地理院地図(電子国土Web)」を基に作成

令和8年度　公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方（案）

資料5

事業名：　（国）362号　下長尾拡幅

箇所名：　榛原郡川根本町下長尾

照会者：　地元関係者、道路利用者

担当課：道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	工事中は時間帯通行を望む。	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
2	事業継続を要望	地元住民の生活道路であり、事故等も起きやすいため拡幅工事を進めていただきたい。 久保尾方向の拡幅工事もして欲しい。	道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
3	事業継続を要望	期間中は全面通行止めではなく通行可能時間を設けて欲しい。通行止め、通行可能のお知らせが欲しい	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
4	事業継続を要望	道路幅が欲しいため拡幅工事を進めて欲しい。通行止め、通行可能のお知らせが欲しい	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
5	事業継続を要望	狭く見通しの悪い道路なため拡幅工事を進めて欲しい。工事中は時間帯通行希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
6	事業継続を要望	島田、下長尾方向に用事があることが多いため工事を進めて欲しい。朝昼夜と通行可能時間を組み込んだ工事を希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
7	事業継続を要望	通勤で使うため拡幅工事を進めて欲しい。時間帯通行、通行可能のおしらせを望む。	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
8	事業継続を要望	道路幅が欲しいため拡幅工事を進めて欲しい。迂回路の整備が欲しい。	川根本町と協力してライン等の安全施設や側溝蓋の設置を行っています。町道であるため拡幅は難しいですが、迂回路として利用する間は、引き続き、必要に応じ安全対策を実施します。
9	事業継続を要望	早急な工事進行希望 時間帯通行希望 大型バスすれ違いのために瀬沢－久保尾間の拡幅希望 県道263原山地内の拡幅希望	施工は時間帯通行止めの予定です。道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
10	事業継続を要望	時間帯通行を希望。	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。

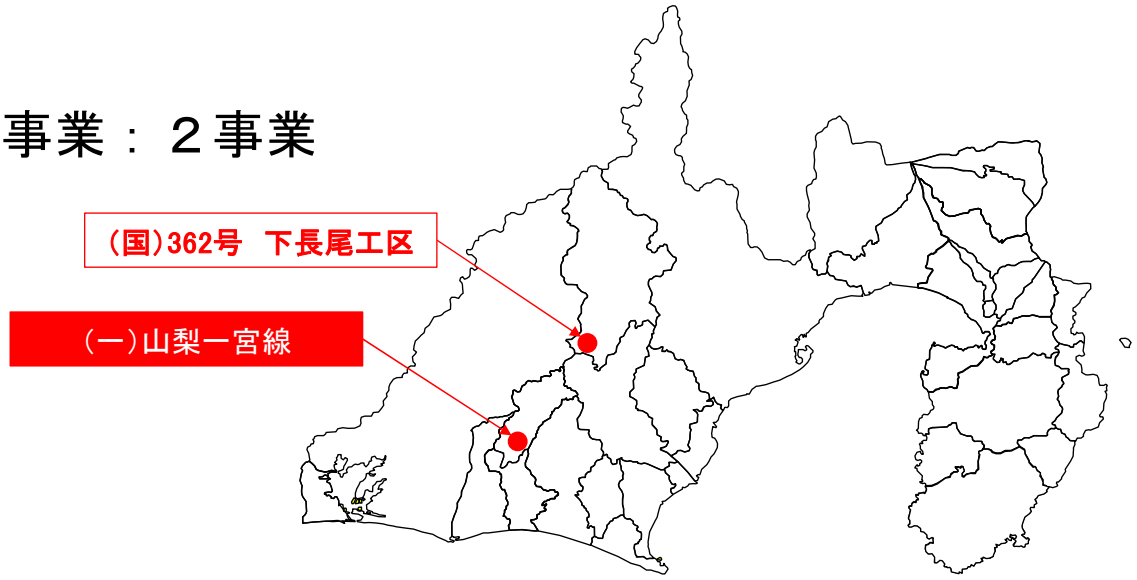
11	事業継続を要望	カーブが狭く危険なため拡幅を望む。	現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。
12	事業継続を要望	カーブの拡幅を望む。 久保尾方向の要所に退避所の設置を希望。	施工は時間帯通行止めの予定です。道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
13	事業継続を要望	すれ違い可能なカーブ等の設置を望む。 時間帯通行を望む。 茶期にはせめて交互通行できるようにしてほしい	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、茶期にはできるだけ通行が可能になるよう調整します。
14	事業継続を要望	拡幅工事希望	道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
15	事業継続を要望	予定箇所より長い区間の拡幅も希望 時間帯通行希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
16	事業継続を要望	この事業の必要性が高いため拡幅工事の進行希望 法面崩壊、路肩決壊の危険性が高い箇所、すれ違い困難な箇所の改良を優先してほしい 見通しをよくするために樹木の間引き希望	急峻な地形を通る国道362号は、幅員狭小箇所が多く、法面や路肩の崩れも度々発生しているため、拡幅の必要性は理解しています。現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。
17	事業継続を要望	時間帯規制を望む。	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
18	事業継続を要望	接触事故の発生していた箇所であるため拡幅を望む。 時間帯規制を望む。	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
19	事業継続を要望	最低朝昼夜の3回ほど通行可能な時間が欲しい	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
20	事業継続を要望	可能な限りの拡幅希望	道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
21	事業継続を要望	二本松線の迂回路を使用しているがそこも狭い。 工事期間中は現場の昼休みなどの隙間時間は通行可能にして欲しい。	川根本町と協力してライン等の安全施設や側溝蓋の設置を行っています。町道であるため拡幅は難しいですが、迂回路として利用する間は、引き続き、必要に応じ安全対策を実施します。
22	事業継続を要望	狭いカーブがあるため工事進行を望む。 時間帯通行希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。

23	事業継続を要望	迂回路を使っているがそこも狭い 時間帯通行希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
24	事業継続を要望	カーブミラーも見づらく見通しが悪く道路幅も狭い危険な道路であるため工事進行を希望 時間帯通行希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
25	事業継続を要望	完成までの工事を希望 片側通行希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
26	事業継続を要望	すれ違い困難であるため拡幅希望 12mの大型車両も通れるようにしてほしい	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
27	事業継続を要望	カーブが狭く不便で危険なため拡幅希望 1日数回の通行可能時間が欲しい	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
28	事業継続を要望	すれ違いできるように拡幅希望 見通しの悪いカーブを改良してほしい 時間帯通行希望 362号のすれ違いが難しいためU字側溝に蓋をしてほしい　緊急車両が来ると困る	道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
29	事業継続を要望	拡幅希望	道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。
30	事業継続を要望	境川ダム付近の狭い箇所の拡幅工事希望 時間帯通行希望	道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
31	事業継続を要望	瀬沢方向の長いカーブが対向車視認困難で不便、工事希望 梅高線の道が狭いため工事希望	川根本町と協力してライン等の安全施設や側溝蓋の設置を行っています。町道であるため拡幅は難しいですが、迂回路として利用する間は、引き続き、必要に応じ安全対策を実施します。
32	事業継続を要望	災害復旧を優先して継続して欲しい。 浜松方向において行楽シーズンは使用状況が異なるため地元民以外の通行も安全にできるように考慮して欲しい。	災害復旧について早期に通行できるよう工事を引き続き進めていきます。瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。
33	事業継続を要望	362号の拡幅工事希望 道路の落ち葉を取り除いて欲しい。	道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。落ち葉については適宜処分します。
34	事業継続を要望	緊急車両のことを考えると早急に完成して欲しい。	道路の拡幅工については、現在事業中である境川ダム横の下長尾工区（軽量盛土工）の拡幅工事を引き続き進めてまいります。

35	事業継続を要望	1日3回ほどは通行可能時間が欲しい	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
36	事業継続を要望	時間帯通行希望 久保尾方向の工事希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。また、瀬沢～久野脇間の狭隘箇所の改良についても、必要な予算の確保を進めてまいります。落ち葉については適宜処分します。
37	事業継続を要望	時間帯通行希望	急峻な地形で道路幅員も狭いため、作業の工程上通行止めをせざる得えない場合には協力をお願いしますが、なるべく通行可能な時間を設けます。
38	事業継続を要望	現在通行止めであり迂回路も狭いため早期に通行できるようしてほしい。大型車が入れない状態のため奥で災害や火災があると支障がある。	通行止めの原因箇所も含めて事業を進めていきます。

令和8年度　公共事業再評価

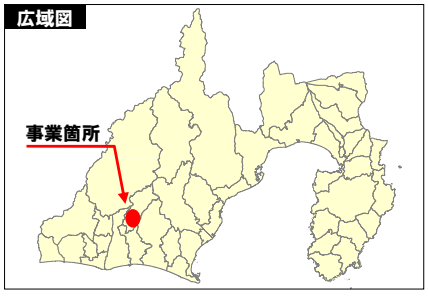
道路事業：２事業



番号	事業名	箇所名	代表事業
2	道路事業	一般県道（いっぱんけんどう）　山梨一宮線（やまなしいちのみや）	
3	道路事業	一般国道362号（いっぱんこくどう）　下長尾工区（しもながお）	○

交通基盤部　道路局　道路整備課

１．事業箇所位置図



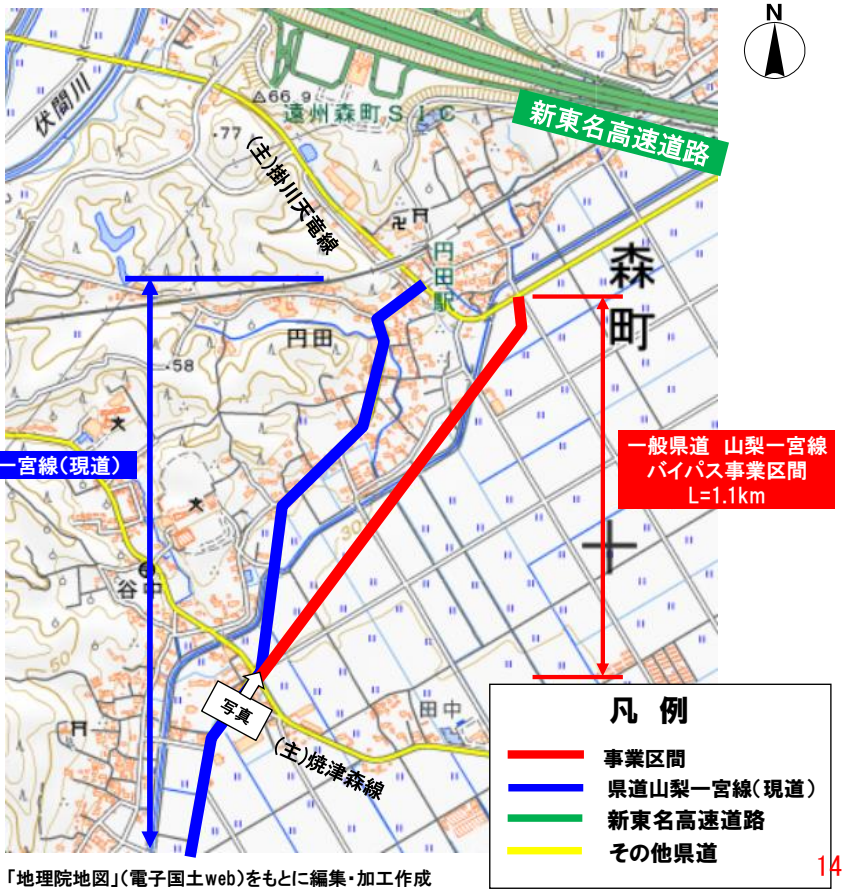


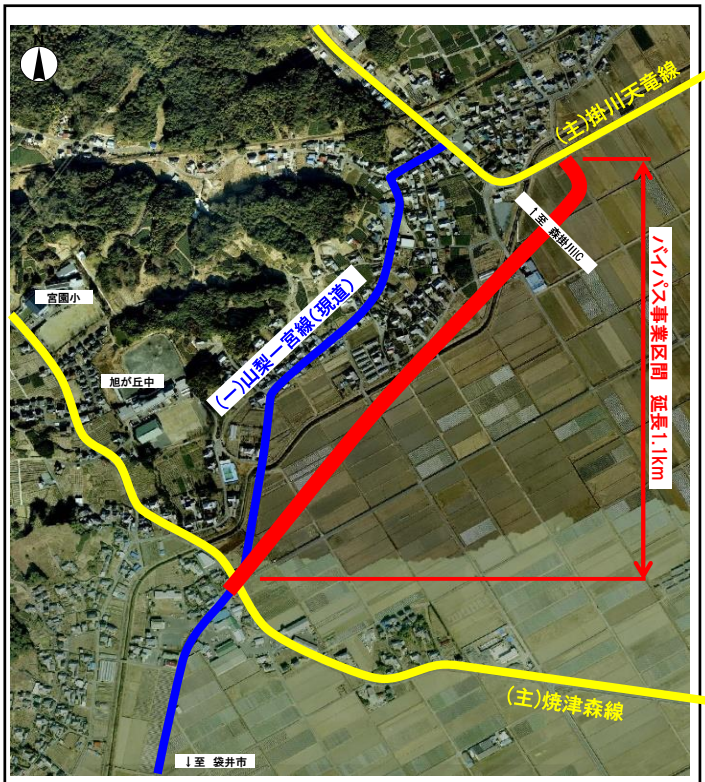
写真　現道（終点から起点を望む）



「地理院地図」（電子国土web）をもとに編集・加工作成

2. 事業概要

詳細位置図



事業目的

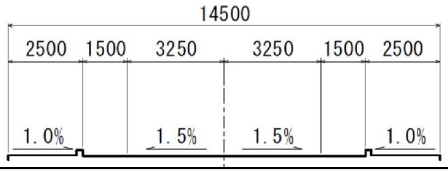
（一）山梨一宮線は静岡県袋井市上山梨から森町円田に至る路線であり、地域交通を担う重要な幹線道路である。事業区間に並行する現道区間は歩道がなく、人家が連担した狭隘な区間であり、現道区間を利用する歩行者や通行車両の安全性向上のため、本事業によりバイパス整備を行う。

さらに、本事業区間は、新東名高速道路と東名高速道路のIC間を直結する森町袋井インター通り線の一部にも位置付けられており、本事業により広域道路ネットワークの強化にも寄与する。

事業内容

- 事業期間：平成29年度～令和12年度
- 事業区間：延長1.1km
- 道路幅員：車道6.5m（全幅14.5m）
- 車線数：2車線
- 全体事業費：1,200百万円

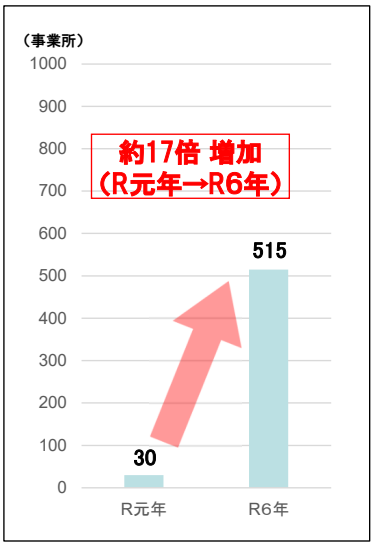
標準横断図



3. 事業を巡る社会情勢の変化

森町では新規事業所数が増加しており、フロンティア推進区域内では工業団地が造成され、企業立地が進んでいる。

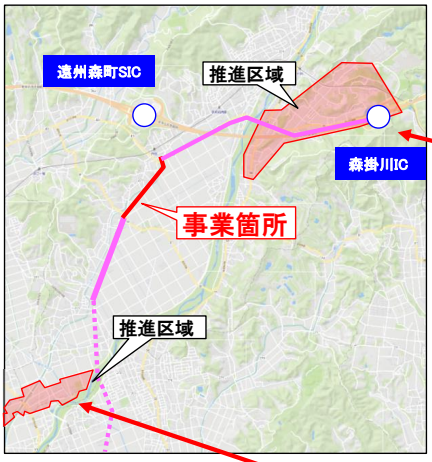
■森町の新規事業所数



資料：～静岡県の事業所～令和元年経済センサス-基礎調査（確報）結果）

資料：～静岡県の事業所～令和6年経済センサス-基礎調査（確報）結果）

■フロンティア推進区域



■北戸綿工業団地（フロンティア推進区域）





アクセス良好！
関東関西が取引圏内

北戸綿工業団地は、森町と掛川市の境に位置し、新東名「森掛川IC」に隣接したアクセス抜群の工業団地です。東京Cまで約2時間40分と工業操業環境として重宝されています。現在、四輪車及び二輪車の自動車部品、物流などの工業が操業を行っています。

■中川下工業団地（フロンティア推進区域）



高い物流ポテンシャルと充実の補助内容

中川下工業団地は、新東名「遠州森町スマートIC」と東名「袋井IC」の中間に位置しており、静岡県が進めるフロンティア推進区域に指定されるなど、内陸部への企業移転の受け皿として期待されています。全国有数のものづくり産業の集積地である県西部地域の特性を生かし、現在は、工業専用地域の未利用地などの整備を進めており、新規参入企業に対する補助が充実しています。



資料：森町町勢要覧2019（森町ホームページ）

4. 事業の必要性（費用便益比）

（前回評価時）

総　費　用(C)	11.41億円
建設投資額	10.93億円
維持管理費	0.48億円

（9.5億円）

総　便　益(B)	20.86億円
走行時間短縮便益	18.52億円
走行経費減少便益	2.11億円
交通事故減少便益	0.23億円

（23.0億円）

	今回評価(R8)
費用便益比(B/C)	1.8
経済的内部収益率(EIRR)	7.7%

（2.6）

$$\text{費用便益比}=\frac{\text{総便益※(走行時間短縮便益 + 走行経費減少便益 + 交通事故減少便益)}}{\text{総費用※(建設投資額 + 維持管理費 − 用地残存価値)}}$$

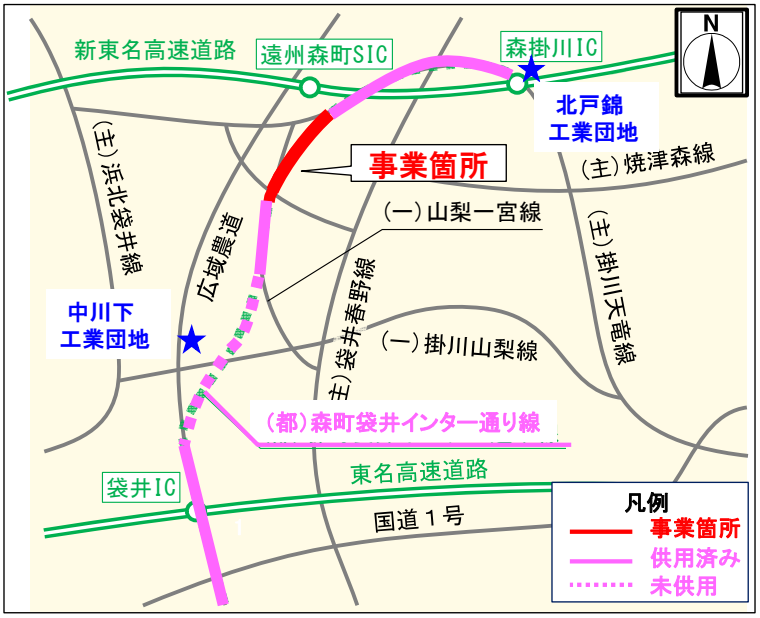
※社会的割引率(4%)を用いて現在価値に換算した総計

4. 事業の必要性（事業の効果）

【広域道路ネットワークの強化】

中東遠地域には、新東名高速道路と東名高速道路のインター間を直結する道路がないことから、高速道路間を接続する(都)森町袋井インター通り線の一部を構成する本道路は、広域的な移動の円滑化に寄与し周辺地域の道路ネットワークを強化する。

■広域道路ネットワーク概要図



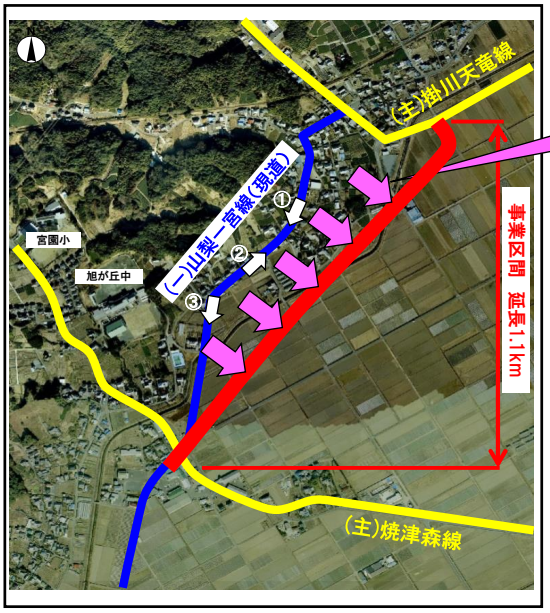
4. 事業の必要性（事業の効果）

【安全な交通の確保】

バイパス整備により、車両の交通転換が図られ、現道区間の交通量が減少することから、現道区間を利用する歩行者やバス路線などの地域交通の安全性が向上する。







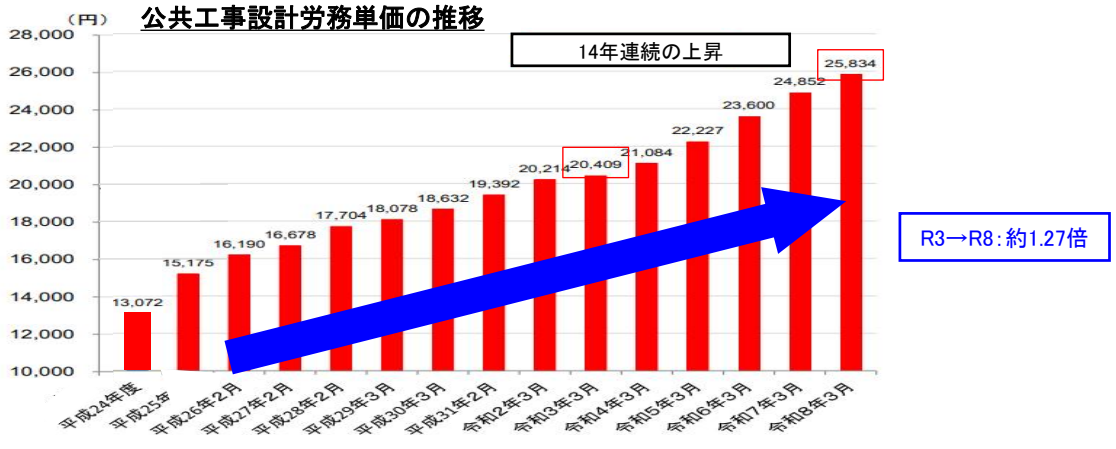


5. 前回からの変更点・理由

前回からの変更点・理由

	前回（R3）	今回（R8）	主な変更理由
①計画期間	H29～R8	H29～R12 （＋4年）	・用地交渉の長期化 （+3年） ・用水の配水計画に関する地元との合意形成 （+2年） ※重複期間を含む
②全体事業費	950百万円	1,200百万円 （+250百万円）	・補償費の増加 （+ 60百万円） ・労務費及び材料費の上昇（+190百万円）

公共工事設計労務単価の推移



出典：国土交通省報道発表資料

6．事業の進捗状況（令和８年度末見込み）

区　分	進捗率	内　訳
事業費	38%	（ 461百万円 / 1,200百万円 ）
工事費	10%	（ 78百万円 / 794百万円 ）
用地取得	25%	（ 6,508m2 / 25,858m2 ）

7．今後の事業の進捗の見込み

・事業内容に理解が得られていなかった地権者との契約がR7に完了し、今年度も、工場を補償対象とする地権者との契約を予定しているなど、用地取得が着実に進捗していく見込みである。

・また、用地を取得できた区間については工事に着手しており、今年度は140mの水路工を実施する予定である。

8．新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

・整備に必要となる約1.7万m3の盛土材について、4.2km離れた袋井市内の切土工事の発生土を活用し、工事のコスト縮減に努めていく。

9．対応方針（案）

本事業は、

・東名高速道路や新東名高速道路と連携した広域道路ネットワークの強化や交通転換による地域の安全な交通の確保に資する重要な役割を果たす道路事業である。

・地元市町や関係者から成る建設促進期成同盟会をはじめ、多くの団体から整備推進の強い要望が出されており、地域の期待は大きい。

・費用便益比（B/C）は1.8と1.0を上回る。

以上から、事業効果が大きい。



期成同盟会による国土交通省への要望活動（R7.8.18）

事業を継続し、早期完成を図る。

令和8年度　公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方（案）

資料5

事業名：　道路改良事業

箇所名：　一般県道　山梨一宮線

照会者：　園田町議会議員、一般県道山梨一宮線の自治会関係者　9名

担当課：道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	平成2年に都市計画決定した路線ですでに37年余り過ぎているので早期に進めて完成を目指してもらいたい。	当該路線が早期に地域のネットワークとして機能するよう、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	円田地区はレタス等の地場産品を支えている。これらを早期に輸送するためには新東名へとつながる道路が必要。企業誘致にも有利になることから、早期に実現してほしい。	当該路線が早期に地域のネットワークとして機能するよう、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	谷中交差点に歩道がなく危険だと感じるため、早急な道路整備を進めてほしい。	車両のすれ違い困難な状況や歩行者の安全確保ついて検討を行い、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	インター通りは森町と袋井市間の往来がスムーズになり、現道は狭く通学路として危険があるため、早急に整備を進めてほしい。	車両のすれ違い困難な状況や歩行者の安全確保ついて検討を行い、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	現道が狭く、通学に危険なので道路整備を進めてほしい。	車両のすれ違い困難な状況や歩行者の安全確保ついて検討を行い、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	道路の整備により日常の移動がスムーズになり、生活道路を通る通過交通が減り住民環境が静かになるため、整備を進めてほしい。	車両のすれ違い困難な状況や歩行者の安全確保ついて検討を行い、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	道路整備によりアクセスが良くなることで、周辺の利便性が高まり住民生活が向上するため、整備を進めてほしい。	当該路線が早期に地域のネットワークとして機能するよう、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	交通を円滑にし、災害時などに道路が有効な役割を果たすため、整備を進めてほしい。	当該路線が早期に地域のネットワークとして機能するよう、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	現道は通学路となっており、狭く歩道がないためバイパスを整備し、安全性を向上させてほしい。	車両のすれ違い困難な状況や歩行者の安全確保ついて検討を行い、早期完成を目指して事業を推進する。
10			